

A-1 学校研究の概要

本校は施設移転に伴い、校内に太陽光発電や中水利用、ビオトープなど環境に考慮した施設ができた。従来からある夕日寺の豊かな自然や文化をもとに、環境教育を推進できる地域である。環境教育で期待できる直接的体験や具体的な活動は、子どもの五感を磨きながら感性や主体性を育み、豊かな人間形成に寄与できると考える。本校では、環境教育を総合的な学習の柱として考え、平成17年度から研究主題「共に生きる子をめざして～かかわり合いながら課題解決の喜びを味わえる授業をめざして～」を設定した。

各学年2クラスずつの児童数である。学習には意欲的な子が多いが、自らすすんで課題を解決していく児童はまだ少ない。また、素直で素朴な子が多い反面、自己中心的な言動をする児童も多い。一人一人が「調べたい、解決したい、話したい、聴きたい、参加したい」という学習意欲を高める学習展開の工夫や、互いにかかわり合い高まり合っていくための基盤となる温かな人間関係の醸成が本校の課題である。

総合的な学習の時間を通して、課題解決の喜びを味わえさせるために、学習を通して、児童につけたい力として「見つける力」「調べて考える力」「伝える力」として設定した。各教科でも日常的にこの3つの力を意識しながら育て、総合的な学習の時間でつけたい力のための内容や評価規準をより具体化していきたい。